

都市再生整備計画

く み やま
久御山まちなわ 地区

きょう と ふ く み やま ちょう
京都府 久御山町

令和6年10月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	京都府	市町村名	くみやまちょう 久御山町	地区名	くみやま 久御山まちのにわ 地区	面積	19.2	ha	
計画期間	令和 4	年度 ~	令和 8	年度	交付期間	令和 4	年度 ~	令和 8	年度

目標
<p>大目標：行政機関など社会基盤・文化・レクリエーション施設が集約される“久御山まちのにわ”エリアを再整備して活用し、安心して全ての住民・企業等が集い・交流・活躍するまちづくり</p> <p>目標1：全世代・全員活躍まちづくりセンターの整備と久御山中央公園の再整備を行い、交流・活躍の“場”の提供による地域の活性化</p> <p>目標2：全世代・全員活躍まちづくりセンターと久御山中央公園を結ぶ歩行空間の再整備による交通環境及び利便性の向上</p>

目標設定の根拠
<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <ul style="list-style-type: none"> 久御山町は、昭和29年に佐山村と御牧村が合併して誕生した。昭和41年に国道1号線枚方バイパス(現国道1号線)が開通すると、農業中心のまちとして発展してきた本町の様相が一変し、工場、倉庫など諸産業が進出するとともに住宅地開発が進むなど急激に都市化が進展したため、昭和46年に都市計画法による市街化区域・市街化調整区域の決定、昭和48年に用途地域の指定を行った。こうした都市化の進展に伴い、道路、河川、下水道、公園等の都市基盤施設や、幼稚園、小・中学校をはじめ、総合体育館、生涯学習センター、中央公民館、図書館、健康センターなど教育・文化、介護予防施設等の整備を進めてきた。 いずれの施設においても大規模修繕を行うことなく老朽化がすすんでいる。 これまでは、各公共施設間で連携することなく、それぞれの目的、役割における利用にとどまっていた。 久御山町中央公民館は、開館後約50年が経過し、耐震強度不足が判明したこと、また、利用率が低いため、そのありかたについて検討委員会を立上げ検討を行い、解体・撤去して適切な規模で建替えを行う事を決めた。 町道電々グランド線は久御山町役場(京都京阪バス停あり)やまちづくりセンターと久御山中央公園を結ぶ路線で、その歩道は、地域住民の通勤・通学など生活交通に欠かせない生活基盤となっている。 久御山中央公園は供用開始後44年が経過し、老朽化等で十分に利用されないエリアも散見されるため、そのあり方について検討委員会を立ち上げ検討を行い、憩いの場や交流・にぎわいの場として、生活・暮らしの価値を高め、まちのホスピタリティとしての公園となるよう、まちづくりセンター整備関連事業として、まちづくりセンター整備に併せ再整備する事を決めた。
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少社会に突入し、コミュニティの希薄化が懸念される中で、地域住民と行政機関が連携・協働した“まちづくり”が求められる社会の到来により、あらゆる世代の住民が居場所と役割を持ってつながり、交流しながら、健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができるような、また、若年層をはじめ障害者など誰もが地域で働く場が確保でき、子育て世代が安心して出産・子育てできる、社会教育・生涯学習機能並びに防災拠点機能を併せ持った新たな基盤拠点施設を整備する必要がある。 各施設の利用者の新陳代謝が行われていないため、固定化されており利用率が低い状況にある。 公共施設の単独での利用にとどまらず、施設間で連携をとりながら、あらゆる世代が交流できる“場”を作る必要がある。 目的が無くても、ふらっと立ち寄れる“居場所”をつくり、新たな出会い、交流の機会を作る必要がある。 町道電々グランド線の歩道は街路樹が植栽されているが、一部区間は大変狭小で、また、根の繁茂により路面が盛り上がり段差がある状況となっており、歩行者等の通行に支障を及ぼしている。
<p>将来ビジョン(中長期)</p> <p><久御山町「第5次総合計画」>(平成28年度～平成37年度)(平成28年4月)</p> <p>人口減少や少子高齢化の急速な進行、それに伴う地域コミュニティの低下、震災等の自然災害を契機とした防災意識の高まり、先行き不透明な景気動向への不安など社会情勢が大きく変化し、人々のニーズが複雑かつ多様化している。このため、まちの将来像として「つながる心、みなぎる活力、京都南に『きらめく』まち～夢いっぱいコンパクトタウンくみやま～」を掲げる、平成28年度から10年間のまちづくりの指針「久御山町第5次総合計画」を平成28年3月に策定した。</p> <p><「全世代・全員活躍型『生生活躍のまち』構想～夢いっぱいコンパクトタウンくみやまCCAC構想～」>(令和2年3月)</p> <p>あらゆる世代の住民が居場所と役割を持ってつながり、交流しながら、健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができ、若年層をはじめ障害者など誰もが地域で働く場が確保でき、子育て世代が安心して出産・子育てできる地域づくりを推進する久御山モデルの「地域共生社会」の実現を目指す。</p> <p><久御山町全世代・全員活躍まちづくりセンター整備基本計画>(令和3年3月)</p> <p>「全世代・全員活躍型『生生活躍のまち』構想～夢いっぱいコンパクトタウンくみやまCCAC構想～」において、同構想を実現し、居場所と役割のあるコミュニティづくりを行うため、あらゆる人やあらゆる世代の人口が交流する「場」を提供する施設として整備する。</p> <p><久御山まちのにわ構想>(令和元年2月)</p> <p>運動施設以外の交流拠点としての機能を充実させるため、憩いの場や交流・にぎわいの場として、生活・暮らしの価値を高め、まちのホスピタリティとしての公園となるよう、まちづくりセンター整備関連事業として、まちづくりセンター整備に併せ久御山中央公園を再整備する。</p>

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
まちづくりセンター及び中央公園で行われるイベントや体験交流活動等を企画運営する地域団体・グループ数	団体・グループ	まちづくりセンター及び中央公園で行われるイベントや体験交流活動等を企画運営する住民・企業等で構成される地域団体・グループの数	住民・企業等が学習や事業の成果等を発表できる場を提供する	1	令和4年度	3	R9年度
まちづくりセンター利用率	%	まちづくりセンター諸室(ホールなど)の利用率	住民・企業等が学習や事業の成果等を発表できる場を提供する	0%	令和4年度	30%	R7年度

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【まちづくりセンターと中央公園を中心とした交流・にぎわいの創出】 ・町役場に併設する久御山中央公民館(令和2年9月閉館)を、新たに全世代・全員活躍の基盤拠点施設となる社会教育・生涯学習機能及び防災拠点機能を併せ持った「全世代・全員活躍まちづくりセンター」として整備するとともに、運動施設以外の交流拠点としての機能を充実させるため、憩いの場や交流・にぎわいの場として、久御山中央公園を再整備する。屋内、屋外の両施設が連携することにより、住民・事業者等が集い、交流・活躍する“場”を提供し、地域の活性化を図る。</p>	<p>【基幹事業】 高次都市施設整備(地域交流センター):全世代・全員活躍まちづくりセンター建設 【基幹事業】 地域生活基盤施設(公共公益施設と一体的に整備する再生可能エネルギー施設等):全世代・全員活躍まちづくりセンター用ソーラー発電カーポート整備 【提案事業】 まちづくり活動推進事業:住民主体のワークショップ、地域主体イベント開催 【関連事業】 都市公園・緑地等事業(都市公園):久御山中央公園再整備</p>
<p>【安全な歩行空間の整備】 ・まちづくりセンターと中央公園の間を誰もが安心して通行できるよう、両施設を結ぶ町道の歩行空間を再整備し、両施設を相互利用する際の交通環境や利便性の向上を図る。</p>	<p>【基幹事業】町道整備:町道電々ブランド線</p>
<p>その他</p>	
<p>【その他官民協働の取り組み】 ・「まちづくりセンター」整備運営事業に関するサウンディング型市場調査(R3. 6～)実施 ・「まちづくりセンター」整備に係る“まちづくりトーク(R4. 1 ←R3. 8[新型コロナの影響で延期])”開催</p>	

都市再生整備計画の区域

様式(1)-⑥

久御山まちなわ地区 (京都府 久御山町)	面積	19.2ha	区域	久御山町島田、田井、下津屋
----------------------	----	--------	----	---------------



